

KABU+ 会員制サービス 会員プラン・月額料金

	会員プラン	プレミアム	ビジネス	補足説明
	月額料金 (税込)	¥2200	¥33000	
	契約対象	個人	法人・個人	法人のお客様はビジネスプランの契約が必要
	使用目的	個人利用	法人利用 事業利用 営利目的利用	事業利用・営利目的利用のお客様はビジネスプランの契約が必要
利用可能 データ	株価一覧表	○	○	平日16:00頃更新
	株価四本値データ (日通し・前場・後場)	○	○	平日16:00頃更新
	投資指標データ	○	○	平日16:00頃更新
	決算・財務・業績 データ	○	○	本決算データ 毎週第1開場日(原則月曜日)16:00頃更新
	銘柄基本データ	○	○	上場年月データ 新規上場・上場廃止日 16:00頃更新
	日証金 融資・貸株残高データ	○	○	平日11:40頃更新(日証金発表次第)
	日証金 逆日歩銘柄一覧データ	○	○	平日10:40頃更新(日証金発表次第)
	信用取引残高データ	○	○	毎週第2開場日(原則火曜日)16:30頃更新
	信用取引残高明細データ (合計・制度・一般)	○	○	毎週第2開場日(原則火曜日)16:30頃更新
	株価指数データ	○	○	平日15:45頃更新
	商標出願データ	○	○	平日0:10頃更新(特許庁発表日)
	サードパーティー 提供データ	○	○	先物データ(k-db互換フォーマット)等
	機能 サービス	銘柄リスト 作成・共有機能	○	○
過去データ ダウンロード機能		○	○	過去データ1年分をダウンロード可能 それ以前の過去データ(2018年分～)は別途ダウンロード販売
自動ダウンロード 許可		○	○	
SMB共有フォルダ		○	○	SMBプロトコルを用いた共有フォルダ機能 PCからSMB共有フォルダサーバ 139/445番ポート宛の通信許可が必要
共有フォルダ・PC 一括同期機能		○	○	共有フォルダからWindows PCのローカルフォルダへ一括同期する機能 共有フォルダ一括同期ツール提供
共有フォルダ・PC 高速同期機能		○	○	共有フォルダ・PC間の一括同期時に高速な同期が可能 (標準より10倍以上高速に同期可能)
Excel 1クリックデータ更新		○	○	Windows版 Excel 2016・2019・2021 (Office 365含む)が必要 共有フォルダ接続が必要
データ分析結果配信 SNS・ブログ発信		○ 月6回まで	○ 回数制限無し	SNS・ブログ発信時は要画像化 データの再配信は禁止(※1)
データ分析結果配信 Webサイト・配布ソフト ウェア利用・メール配信		-	○	データの再配信は禁止(※1)
データ分析結果配信 (上記以外)		-	○	データの再配信は禁止(※1)
オーダーメイド データ	-	○ 対応可能 (有償・要相談)		
ユーザー認証	ID・パスワード		複数名・複数法人でのID共有は禁止(※2)	
推奨環境	OS 推奨バージョン	Windows 10・11 Mac OS 12・13・14		
	推奨Webブラウザ	Google Chrome		最新バージョン推奨
	Excel 推奨バージョン	Excel 2016・2019・2021 (Office 365含む)		Office 365は最新バージョン推奨
制約	利用端末数 上限	2台	20台	アクセス端末数・データファイル保存端末数の合計の上限(※3) ビジネスプランには2台分のシステム開発用ライセンスが付帯(※4)
	アクセス回数 上限	8回/1時間	120回/1時間	ブラウザ画面表示+ファイルダウンロード(ブラウザ経由・共有フォルダ経由)の合計アクセス回数(※5) 共有フォルダ一括同期ツールの使用時はアクセス回数の上限無し
サポート	メールサポート (3ヶ月あたり)	最大4件	最大6件	
会員登録	決済方法	クレジットカード 銀行口座振替 銀行振込	クレジットカード 銀行口座振替 銀行振込	クレジットカード決済・銀行口座振替：決済サービス「PayPal」利用
	契約周期	3ヶ月 12ヶ月	3ヶ月 12ヶ月	クレジットカード決済・銀行口座振替：3ヶ月(約91日)(※6) 銀行振込：12ヶ月(365日)(※6)

※1 データの再配信 及び 編集・加工情報の配信はできません。

(配信可能なデータ分析結果の例：独自に算出した目標株価、独自に算出した銘柄推奨スコア、買いシグナル・売りシグナル、売買ルールのバックテスト結果)

※2 IDは個人・法人に紐付くものであり、複数名・複数法人での共有を禁止します。ID共有が疑われる場合には、予告無くアクセスを遮断する場合があります。

※3 上限を超える端末で利用する場合には、端末数分の契約が必要です。

※4 システム開発用ライセンスはシステム開発会社の担当者がシステム開発・保守用途で利用可能です。(利用時は事前に申請が必要)

※5 上限を超える頻度のアクセスを継続された場合には、予告無くアクセスを遮断する場合があります。

※6 契約が成立した日が契約期間の開始日となります。以降は上記の契約周期で契約が更新されます。